



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### カタール：プーチン露大統領の訪問

(2月13日付現地紙)

2月12日、中東諸国を歴訪中のプーチン露大統領はカタールを訪問した。

1. 12日夕、ハマド首長はプーチン露大統領と二国間公式協議を行い、カタール側よりタミーム皇太子、ハマド第一副首相兼外務大臣、アティーヤ第二副首相兼エネルギー工業大臣、カマール財務大臣兼経済通商大臣等が、そして露側は外務大臣、大統領顧問、連邦評議会外交委員長、Lukoil Oil 社社長、Gazprom 社会長等が出席した。

協議では、二国間の友好協力関係のレビューと様々な分野での関係強化と共に、両国共通の関心事項である地域・国際問題について意見交換が行われた。同協議後、ハマド首長とプーチン大統領は、両者のみによる会談を行った。

2. 同協議に続いて、次の覚書及び合意が署名された。

- (1) 領事事項の協力に関する両国外務省間の覚書
- (2) カタール石油 (QPC) と Lukoil Oil 社間の覚書
- (3) 両国間の投資相互推進・保護に関する合意
- (4) カタール商工会議所 (QCCI) と露・アラブビジネス評議会との間で合同ビジネス評議会設立に関する合意

3. 両国首脳の見聞記者会見

- (1) ハマド首長の発言

(イ) 両国関係は強固なものになっており、特に地域の平和問題では協力関係にあり、安保理などの国際的な場でも両国は見解・理解を共有している。プーチン大統領が提案している和平国際会議を支持する。パレスチナ・イラク・レバノンでの緊迫した状況に鑑みれば、地域は支援を必要としている。露は、同会議の開催にて成功するであろう。

(ロ) プーチン大統領との間で、カタールにてガス輸出国間の会議を開催することに合意した。カタールは本件に関する将来のあらゆる集合体に参加する意志がある。OPEC 及び将来設立される可能性のあるガス生産国間の機関の間には大きな違いがある。石油価格は上下に変動するが、ガスは20年或いはそれ以上の長期契約で販売される。4月に予定されるガス輸出国の会議で、本問題が取り上げられることを希望すると共に、会議の成功を祈っている。

## (2) プーチン大統領の発言

- (イ) 両国は、国際問題がどんなに複雑でも平和的且つ交渉によって解決されるべしとの立場を共有している。又、露は、安保理非常任理事国であるカタールとの協力関係を重視している。
- (ロ) 中東和平については、公正な和平への解決の実現を希望する。ファタハとハマスによるマッカ合意を歓迎すると共に、サウジアラビアが果たした役割を賞賛する。
- (ハ) 両国の経済・通商分野での協力関係を発展させることは重要であり、燃料、エネルギー、製鉄、投資、科学技術等の有望分野で具体的成果が出ることを期待している。同分野での協力において、両国間の合同ビジネス評議会の役割は重要である。この度、カタール石油社と Lukoil Oil 社の間で石油・ガスの分野での協力に関する覚書が調印されたが、露のその他の関連企業はカタールのカウンターパートナーと協力する用意が出来ている。ガスの分野で我々はマーケットを異にしており、コンピテターではなく、共通の理解があり、世界市場で生産者の利益を保護するべく協力が求められている。本件についてはハマド首長とも意見を共有しており、露は4月にカタールで開催されるガス生産国会議に参加する予定である。
- (ニ) (ガス生産国による OPEC のような機構の設立に反対するののかとの質問に対し) 我々は、これを拒否していない。面白い提案である。ガス生産国間でより緊密な相互調整は必要である。